

平成17年度 定期総会議事録

- ・ 第1号議案 平成16年度事業、収支決算、監査報告の件
- ・ 第2号議案 平成17年度事業計画、予算案の件
- ・ 第3号議案 役員改選の件
- ・ 第4号議案 その他の件

日 時：平成17年4月9日（土） 午後5時15分より

場 所：かでる2・7 520研修室

参加者：18名（委任状177名）

総会に先立ち、今総会の成立宣言が成された。

議長に大石善樹氏を選出し、議事が進行された。

- ・ 第1号議案 平成16年度事業、収支決算、監査報告について議長より説明があり異議なく承認された。
- ・ 第2号議案 平成17年度事業計画、予算案について議長より説明があり異議なく承認された。
- ・ 第3号議案 役員改選、幹事選出について議長より説明があり会長に佐藤一成氏、副会長に森田学氏、成田伸夫氏、会計に大森友季代氏、監査に武山恵亮氏、田中昌史氏の立候補を受け、異議なく承認された。
- ・ 第4号議案 その他の件については何もなかった

1. 学術局

第7回臨床教育研究会 平成7年4月9日(土) かでる2・7 520 研修室にて
講演会 講師 内山 靖 先生 テーマ「座位バランス」 参加者00名

2. 事業局

学院祭参加(平成16年9月12日)

3. 広報局

学友同窓会会報の発行

第12号 H16.7.13 第13号 H17.2.8

学友同窓会ホームページの管理運営

H16.10.7 更新 アクセス数 H17.3.31 現在 8160

会員専用ホームページ

H16.7.12 更新 会員専用求人案内掲載・会員執筆を追加

アクセス数 :H17.3.31 現在 245

アンケートの実施

OT 勉強会にて当日参加者と学生を対象に実施。アンケート結果は定例会議にて報告。

平成16年度総括

学術局：今年度は、学院との共催でPT・OT 会員共に共通する分野として、「座位バランス」をテーマに掲げ、講師には群馬大学医学部保健学科理学療法専攻 内山 靖先生をお招きし、御講演頂きました。今回は4月開催、総会との合同開催というもあり、準備の部分で遅れ等が生じ、講師決定がなかなか進みませんでした。無事に開催することができ、多くの会員の皆様のご参加を頂き開催することができました。昨年度に得た知識や反省点を教訓に企画・準備を行った結果、講師の選定に時間を要した他は、他局の協力もありスムーズに運営を行うことができました。

今年度の反省をもとに、来年度は更なる円滑な運営を心がけようと考えています。

事業局：昨年同様に学院祭にてミスタードーナツを販売。売り上げは全額、学友会に寄付。反省点として、学生と協力してのドーナツ販売企画であったが、事前の連絡不足の為、実現出来なかった。しかし、後片付けなどにも参加した事で従来のような「参加しただけ」などのイメージを改善する一助となったものと思われる。

また今年度は、わずかではあるが同窓会役員以外の参加もあり、昨年度よりは交流の機会も多くもてた。しかし、全体的にみるとまだまだ交流を深める余地はあるので、今後も企画の段階から調整して行っていきたい。

広報局：平成16年度は、従来の事業予定に沿って年一回会報を発行。発行日の設定に関して他局との兼ね合いもあり変更あり。内容に関しては従来通り各局の事業報告・案内・学院教員による企画物などを掲載。

ホームページ管理・運営に関して更新ができず再度体制作りが必要と思われる。

アンケートに関しては、勉強会の内容について、開催場所などについての内容について実施。

事務局：E-mailの活用として、勉強会申し込みでの利用はされたが案内等は郵送となった。

アドレス収集は電話連絡等による呼びかけにて収集中。新入会員届にアドレス記載を必須とした。

異動届提出に関しては、例年以上に届出件数があり、呼びかけの効果があつた。今後も会議内報告と会報・ホームページ上掲載による呼びかけを継続し、加えE-mailでの呼びかけも行う。

新入会会員勧誘は、早期からの勧誘と学院の協力があつた為、ほぼ入会してもらつた。

学友会名称変更に関しては、今年度は話し合いを進展させられなかった。来年度には実行できるよう努力していきます。

来年度も以上の反省を踏まえてこれらの充実を中心に行っていきたいと考えています。

平成17年度 事業計画

1. 学術局

平成17年度は会員皆様の知識・技術の向上を深める場を提供していきたいと考えております。今年度は第8回臨床教育研究会と11月の10周年記念の勉強会を予定しております。新会員を含め、会員の多くは臨床での経験が浅く、この勉強会をスキルアップの場として活用できるような学術活動をしていこうと考えております。

11月の勉強会は学院開設10周年事業として他局と連携を図り、卒業生を対象に症例検討やワークショップを予定しております。

第8回臨床教育研究会では、会員皆様のニーズに合わせた企画を行う予定です。また、学院からの助成金の減額が予想される為、研究会の運営においても熟慮していく必要があると考えます。

他局との連携を図り、会員の意見・要望を取り入れての学術活動になるよう努力いたします。昨年度の反省を教訓に、円滑な運営に取り組んでいく所在です。

10周年記念勉強会 11月(予定) 第8回臨床教育研究会 平成18年4月(予定)

2. 事業局

1. 学院祭：本年度も参加を予定。内容は、学院または学友会と協議した上で検討していきたい

2. その他：勉強会後の懇親会のセッティング等を要請に応じて、行っていきたい。

他の企画に関しては、特に検討はしていないものの、会員の皆様が参加しやすいものを検討していきたいと考えている。今後も、学院または同窓会などと協議の上検討していきたい。

昨年度の反省点として、会員の皆様への事業のPR不足があった。

広報局とも連携してよりわかりやすいPRをしていきたいと考えている。

3 広報局

1) 学友同窓会会報の発行：年2回発行し、その他ダイレクトメール(不定期)にて情報発信予定

発行時期 第1回(8月~9月頃) 内容：定期総会や臨床教育研究会についての事業報告など
第2回(2月~3月頃) 内容：事業報告やお知らせなど

2) 学友同窓会ホームページの運営・管理・・・随時

現時点でのホームページ管理・運営は技術的に厳しいため新たに管理者を探す

3) アンケートの実施・・・2回程度

第1回 臨床教育研究会までの間で勉強会が行われた場合に行う。

対象：参加者 内容：勉強会にて、内容や広報活動についての調査

第2回 対象：参加者 内容：臨床教育研究会にて、内容や広報活動についての調査

*以上2回のアンケートの実施を予定しているが、各局の依頼により増える可能性はある。

*アンケート結果は定例会議にて報告する。

4) メール配信システムについて

・会報に変わるシステム作りを行いたいが、アドレス登録数やCアドレス・携帯アドレスと字数制限などの問題があり今年度は基盤作りを行う

4 事務局

E-mailの活用：アドレスに関しては他局と連携、各期での電話連絡にて更なる収集を行う。

勉強会案内、異動届提出連絡、その他連絡事項に利用していく。

異動届提出の徹底：届出のあった会員、現会員の状況を会議内で報告し他役員と情報を共有し提出を呼びかける。会報やホームページ上、メールで届出を呼びかけ徹底していく。

年間予定の作成：早期より事業・学術の会議・行事予定も含めて作成する。

新入会と未入会員の勧誘の検討：早期からの勧誘活動。把握可能な未入会員を勧誘する。

会運営の全体把握と他局活動のサポート

学友同窓会名称変更：方法を検討していく。

学院10周年記念行事への対応：学院へ協力を検討する